



2023年1月13日

各位

会社名 株式会社 オキサイド
代表者名 代表取締役社長 (CEO) 古川 保典
(コード番号: 6521 東証グロース)
問合せ先 取締役副社長 (CFO) 山本 正幸
管理本部長
(TEL. 0551-26-0022)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2022年10月14日に公表いたしました2023年2月期の通期業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 2023年2月期通期業績予想数値の修正 (2022年3月1日～2023年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,339	900	930	650	132.04
今回修正予想 (B)	5,870	516	550	387	78.61
増減額 (B-A)	△ 469	△ 384	△ 380	△ 263	
増減率 (%)	△ 7.4	△ 42.7	△ 40.9	△ 40.5	
(ご参考) 前期実績 (2022年2月期)	4,756	596	598	495	105.06

2. 修正の理由

当社第3四半期の半導体事業におきましては、海外から調達している一部部材に不具合が多発したために製造での必要数を確保できず、レーザ製品の生産量が一時的に落ち込みました。その結果、第3四半期における半導体事業の売上高は、計画を約4億円下回りました。現時点で、不具合の発生原因を抜本的に解決するまでには至っておらず、発注量を増やすこと等により第4四半期計画分の部材確保を進めております。その結果、レーザ製品の生産は計画並みの水準に復帰しつつありますが、第3四半期計画の未達分すべてを第4四半期計画に上積みして生産することは困難な状況にあり、今期計画していた売上高の一部は来期にずれる見込みとなりました。

一方で、世界的な先端半導体工場建設の動きと半導体回路線幅の微細化に伴い、当社の手がける紫外線レーザ需要は引き続き大きく伸びております。積み上がった受注残に早急に対処すべく、部材調達の安定化に注力すると共に、急遽横浜事業所内にもクリーンルームを拡張する等、社内生産能力の増強を進めて

おります。なお、レーザ製品の増産に注力するため、レーザ関連の研究開発計画の一部を来期に持ち越すことを予定しております。このため、前回411百万円から715百万円に増額した研究開発費につきましては、682百万円へ33百万円の減額となる見通しです。

以上のことから、2022年10月14日に公表いたしました2023年2月期の通期業績予想を下方修正させていただきます。売上高については、半導体事業の一部売上の来期への持越しにより、前回予想数値を469百万円下回る5,870百万円を見込んでおります。営業利益については、売上高の下振れに伴う利益減約330百万円、部材不具合による良品選別など製造費用増約100百万円、研究開発費の来期持越し33百万円を総合的に勘案し、前回予想数値を384百万円下回る516百万円を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって記載の予想数値と異なる場合があります。

以 上